令和5年度「学校評価」結果公表シート

学校法人 杉田学園
大和幼稚園

当園ではこの度、令和5年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価及び学校関係者評価を実施いたしました。教職員は、以下の教育目標を念頭に子どもたちのために何をすべきか皆で検討し、1年間の保育を行ってまいりました。園児の健やかな成長を願い、そのための環境整備に努め、園児たちの心身が豊かに成長・発達するよう日々実践を重ねています。今年度の結果及び反省を活かし、次年度以降更なる改善へとつなげるため、本シートにまとめ公表いたします。

1. 園の教育目標

教育目標

健やかに 明るく 伸び伸びと

心身共にすこやかな成長を願っての保育を行います。

具体的な教育目標

- 健康で明るく、自主性と想像力を持った個性豊かな子供の育成をめざします。
- 四季を通じて外で元気に遊べる子供の育成をめざします。
- 集団における協調性を持てるようにめざします。

2. 今年度の重点目標

園の教育目標を前提に、幼稚園の教育課程の内容を確認し、教職員の共通理解を図って、教育の質を高めていく。さらには保護者のニーズを把握しながら家庭と幼稚園が一丸となり、幼児期の子どもの成長を共に援助することに努める。また、個々の教職員自らが自園を見る目を養い、教育の向上又は園児の成長についてどのような役割を果たすべきか意識する。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
幼稚園での教育方針・教育内容について、全教職員での共有と理解をはかる。	園内での勉強会やミーティングの機会を積極的に設け、本園の教育目標と照らし合わせ、現実の保育に反映させるよう具体的な場面を想定して話し合った。

<p>自発的に明るいあいさつを心がけ、地域との連携をはかる。</p>	<p>教職員が見本となり明るく挨拶をすることで、子ども同士は勿論のこと、保護者の方を含め地域の住民の方とも挨拶を交わす光景が見られた。設立以来、地域密着型を意識してきた園として、今後も愛される園となるべく意識的に継続していきたい。</p>
<p>保護者とのコミュニケーションを積極的に図り、より密に連携することで、幼稚園教育の理解を促し、子育て支援に努める。</p>	<p>子どもたちが伸び伸びと活動できる環境づくり、さらには行事等で保護者と一緒に楽しめる園づくりを心掛け、保護者の方の気持ちをしっかりと感じ取ることを意識的に取り組んだ。次年度以降も園が取り組んでいる教育目標を十分に理解してもらえよう園のほうから発信する機会をさらに多く持つよう努力していきたい。</p>
<p>園の施設・設備・遊具などの教育環境の整備に努め、安全確保の体制づくりをする。</p>	<p>子どもたちがのびのびと元気に体を動かせるように遊具や園庭の点検・整備を定期的に行い、事故・けがの防止に努めた。また、教職員・保護者・園児のニーズに合わせ、遊具、図書、砂場等の整備も計画的に進め、教育環境の充実を図ることができた。さらには、常日頃より災害の発生に対しての危機管理意識を教職員間で共有し、園児をはじめ園内の人々の安全を確保するための手段（通報・避難・保護者への連絡等）の周知徹底を図り、緊急時の迅速な対応を心がけるようにした。</p>

4．学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>生涯にわたる人格形成の基礎を培う上で、幼児期における教育は大変重要なものである。そのことを個々の教職員が再認識し、各自取り組むべき課題・改善点を設定し、自己評価を行った。客観的に自らの教育活動を顧みること、反省点・改善点を把握するいい機会を得ることができた。昨年同様、学校評価を通じて得た課題を教職員全員で共有し、意見交換を積極的に行うことで、幼稚園の教育方針や課題を明確にするとともに、各自が毎年スキルアップしていく準備ができたのではないかと思う。次年度以降も子どもたちとその保護者のニーズに応えていけるよう、信頼関係の構築に努め、日々の園運営に取り組んでいきたい。</p>

5．今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
<p>安全管理体制の整備</p>	<p>緊急時（火災、地震、不審者侵入等）の対応手順について、教職員間での共通理解と適切な訓練を継続して実施し、避難対応マニュアルの再整備及び再確認を行う。</p>
<p>教職員の育成・連携・資質向上</p>	<p>子供たちの成長に寄り添うべく、園の教育目標のもと、教職員同士の意見交換を積極的に行い、先輩教員は後輩教員の指導に努め、教職員間の信頼関係の構築に努める。また、教職員の専門知識や技術を向上させるため積極的に研修に参加し、その内容を全教職員で共有すべく園内研修の場を設ける。教育の現場においては、創意工夫を念頭に、固定観念にとらわれることなく新しい企画や試みを積極的に取り入れる柔軟な姿勢を持つ。保護者を含め来園者に対する対応・電話対応など基本的な接遇マナーの再確認を行う。</p>
<p>園内教育環境の整備充実・衛生管理</p>	<p>子どもたちが伸び伸びと活動しやすいよう園内の整備と見直しを図る。また子どもたちの興味や関心に合わせた園づくりに努め、発想力や創造性が育つよう、遊具・図書等の整備を計画的に行う。</p>

6．学校関係者評価委員会の意見

特に指摘すべき事項はなく、学校評価に前向きに取り組み、良好な運営であると認められます。課題の設定やそれに対する評価も適切で、保育の充実はもちろんのこと安全管理体制の充実に対しても意識が高く、安心して子どもを預けられる環境であることがわかります。子どもたち・保護者との信頼関係を大切に、地域に密着した運営を今後も継続していくことを願いつつ、関係者共々、支援させていただきたいと思っております。

7．財務状況

公認会計士による監査により、適正に運営されていると認められている。